

地域に根ざし、農地を守る新たな担い手

こだまり農園（備前市吉永町笹目1162）

元地域おこし協力隊員：浅邊 史也さん

TEL：090-7885-3953 / URL：https://www.instagram.com/kodamari_nouen/



《 岡山の魅力発信 》

Instagramは
こちら▶



農園・担い手概要

令和8年6月11日 現在

代表者	浅邊 史也（あさべ ふみや） 元：備前市地域おこし協力隊員
活動地域	備前市吉永町三国地区。中山間地域の里山に位置し、田んぼや畑が広がる農村集落。
主な作物	経営面積（約1.8ヘクタール）。水稻と野菜（なす、さつまいも、じゃがいも、にんじん、スナップエンドウ等）
連携体制	夫婦を中心に営農し、集落営農組織や地域住民、出荷先、必要に応じた作業支援等とのつながりを大切にしている。農地の利用や地権者との調整には地域との信頼関係が欠かせない。



きれいに管理されている里山のほ場



収穫された なす



「備前焼いも」販売カー



地域農業の担い手としての取組

協力隊から 定住・就農へ	地域おこし協力隊として三国地区に入り、獣害対策や耕作放棄地解消に携わった経験を土台に、任期終了後も地域に残って営農。
農地・景観の維持	三国地区の里山で、田んぼや畑を管理し、耕作放棄地化を防ぐ。高温に対応する水稻品種への切替や、田畑の使い分けなど、地域の農地を使い続ける工夫を重ねている。
地域資源の活用	備前焼の陶片を活用した「備前焼いも」に取り組むなど、備前らしい資源を生かした商品づくりも実施。単なる商品PRにとどまらず、地域の歴史や資源を営農に結びつける取組として展開。



代表：浅邊 史也さん



今後の展望

- ◆ 急な規模拡大よりも、現在の農地を丁寧に維持し、地域に根ざした営農を継続。
- ◆ 「住んで、田んぼや畑を維持することが景観を守ることにつながる」との思いを大切に、地域農業の担い手として三国地区の農地と景観を次につなぐ。
- ◆ 地域おこし協力隊をきっかけとした定住・就農の参考事例として、自らの事例を、次の担い手確保につながる取組として発信していく。